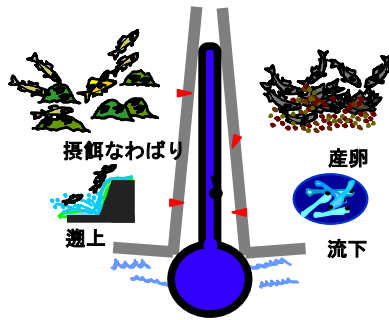


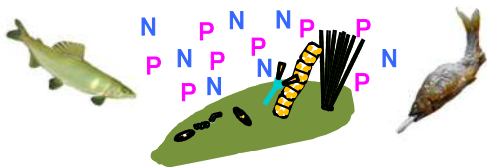
保全生態学研究室

教員名：井口恵一郎

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？



アユの生活史



アユは、海と川の間を往来する回遊魚で、一生の半分は海の中で暮らしています。川を遡るうちに歯が生え替わり、石の上に付着した藻類を専食するようになります。

藻類は、リンPや窒素Nといった環境負荷物質を取り込みながら成長します。藻類を食べるアユを釣り上げることで、水中負荷物質の回収が実現します。つまり、アユの塩焼きを食べるあなたは、河川水の浄化にホンの僅かながら貢献することができるのです。



産卵場造成

近年、河川のあちこちで「改修」という名の攪乱が進行し、アユが少なくなってしまった水域も少なくありません。鍬やスコップを使って川底をほぐしてやると、アユの産卵場が復元され、本種の増殖効果が期待されるようになります。

当研究室では、下記のような視点で研究をおこなっています。

- 水辺の身近な生き物のなかから対象を選定し、生態学的アプローチを通じて、自身の「自然観」に磨きをかけていきます。
- ヒトもまた生態系構成員であることを自覚したうえで、私たちと周りの生き物のリアルな関係について理解を深めていきます。
- 生き物同士が培ってきた関係性に敬意を払いつつ、持続可能な生態系を維持していくために有効な方策を提言していきます。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

大学院に進学する学生その他、環境関連の公務員志望者が在籍しています。民間の就職先にはインドアとアウトドアの両方が含まれています。